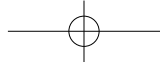


総目次

31号 (2015・冬)	「戦争法廃止の国民連合政府」実現へ 山下芳生 80	「市民社会」とは何かーブラヴォイ論文の紹介を兼ねて 小原耕一 213	【巻頭言】なぜいま、明文改憲発言なのか？ー2016年の対決の焦点 渡辺 治 13	【観測点】サンダースvsクリントンの指名争い(岡田則男) 19/日本の法治主義、地方自治問う沖繩(宮城義弘) 21/ガリ元国連事務総長の死に(三浦一夫) 25/大相撲春場所をふり返って(杉山邦博) 28	【特集1】参院選・岐路と選択 安倍改憲路線の表層と深層ー緊急事態条項改憲を軸に 森 英樹 32 希望はアホノミクスの向こう側 浜 矩子 44 亡国のTPPでいいのかー国民の自己決定権が問われている 真嶋良孝 53 ……………	【観測点】民主主義への一歩を踏み出さかーミャンマー総選挙(岡田則男) 19/命どう宝！すべては命あってこそ！(城間真弓) 21 「テロと戦争の文明」からどう抜け出すか 三浦一夫 24 【特集1】暴走・安倍政権を包囲する希望 安保法国会から「約束と希望の9条」へ 広渡清吾 34 〈対談〉自立する市民、澁刺たる学生、輝く知性ー安保法国会から見えてきたもの 内田樹・石川康宏 49 沖縄は日本ではないのかーこれ以上許せない「憲法クーデター」、沖繩差別 仲宗根 勇 72	【賞味期限】を過ぎた日本資本主義 小西一雄 96 核兵器廃絶の展望と課題ー2015年NPT再検討会議を踏まえて 黒澤 満 107 【特集2】貧困大国・ニッポン 広がり続ける貧困ーその現状・背景・歴史的位置 後藤道夫 118 枚挙にいとまない受診控えの手遅れ死亡 山本淑子 138 子どもの貧困をめぐる状況と新福祉国家構想 小澤浩明 149 システム化する女性の貧困 杉山 春 160 …………… 日露戦争と明治一知識人の歴史認識 佐生共一 167 大阪W選挙(大阪府知事・大阪市長選挙)を振り返って 前田博史 184 西田幾多郎『日本文化の問題』の錯誤と作為(上) 福田静夫 195	【書評】岩崎信彦著『21世紀の「資本論」』マルクスは甦る』 浅野慎一 226 ケヴィン・B・アンダーソン著 ／平子友長監訳／明石英人・佐々木隆治・斎藤幸平・隅田聡一郎訳『周縁のマルクス』 岩佐 茂 229 原田敬一著『「戦争」の終わらせ方』 佐々木隆爾 233 《読書ノート》岡田 進著『ロシアでの討論ソ連論と未来社会論をめぐる』、石堂清倫インタビュー『社会主義の七〇年 民主主義との結合をもとめて』 木村英亮 237 読者のひろば17/編集後記 240	【「グラビア」】Autradiography from FUKUSHIMA 光る放射能	32号 (2015年・春)	【「グラビア」】Autradiography from FUKUSHIMA 光る放射能
--------------	------------------------------	---------------------------------------	---	---	---	---	--	---	---	---------------	---

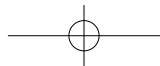


- 映画「うりずんの雨」を見て
駒田和幸88
- 【特集2】東日本大震災から5年
原発事故からまる5年 福島原
発の現状と被災者たちの今
伊東達也94
福島の小児甲状腺がんを考える
松崎道幸105
焦慮の思いで見える復興事業
野里征彦115
- 【特集3】貧困大国ニッポン(下)
安倍内閣の雇用改革と雇用身分
社会
森岡孝二126
最低賃金裁判が明らかにした低
賃金労働の実態 福田裕行136
ここまでできた若者の非正規労働
者化と貧困化 北出 茂150
生活保護基準引き下げ違憲訴訟
の闘い 木下秀雄162
学生の貧困と劣悪労働
今野晴貴173
大学の魅力と不安 丸山貴大185
……………
70年目のきけわだつみのこえー
「自由主義者」上原良司の特攻死
- をめぐって 手塚英男188
西田幾多郎『日本文化の問題』
の錯誤と作為―歴史の弁証と哲
学の没落(下) 福田静夫202
【書評】北島義信『坊主の品格』
田平暢志219
『馬場辰猪 日記と遺稿』
宮地正人224
ダニエル・ペンサイド『時なら
ぬマルクス』 三崎和志228
尾関周二『多元的共生社会が未
来をひらく』 亀山純生232
読者のひろば17／グラビア解説
239／編集後記240
- 33号(2016年・夏)
【グラビア】仏教、ヒンドゥー教
遺跡と釈迦の足跡(インド・ネ
パール) 藤田観龍4
【巻頭言】安保护法違憲訴訟原告団
に加わって 堀尾輝久13
【観測点】ベネズエラとブラジルの
事態(岡田則男)20／ヘイト・
スピーチ解消法―包括的な反人
種差別法に向けた第一歩(宋恵
叔)23
【資料】本邦外出身者に対する不
当な差別的言動の解消に向けた
取組の推進に関する法律25
【特集1】急変貌 大増強する日本
の基地
急変貌する自衛隊・米軍基地
内藤 功28
F16 殴り込み部隊―三沢基地の
役割と県内の動き
中屋敷泰一38
米空軍特殊作戦部隊CV22オス
プレイの拠点化―横田基地
岸本正人49
増強と共同作戦体制すすむ―横
須賀の米軍と自衛隊
鈴木和弘58
【迅速に増強】される岩国基地
吉岡光則67
……………
【対談】四千の命に押されて―小
説・映画『あん』と冬敏之の一
生 鶴岡征雄・ドリアン助川75
フォーラム【電波はだれのもの
か―「停波」発言と報道・メデ
ィア、言論・表現の自由を考え
る 青木理、新垣毅、
岸井成格、醍醐 聰、永田浩三90
【特集2】限界を超える怒りの島・
沖縄
怒りは限界を超えた―6・19沖
縄県民大会 宮城義弘110
命守るのは母である私の責任
城間真弓116
〃オール沖縄を支える二つの歴
史的体験 古堅実吉118
基地も海兵隊もない沖縄へ
中村重一128
……………
市民・野党の共同が自公を追い
詰めた衆院北海道5区補選
宮田汎138
〃未知の断層が動いた熊本地震
野田雅也149
平成28(2016)年熊本地震
と今後の予測 都司嘉宣157
災害派遣の名のもとにすすむ米
軍と自衛隊の一体化
紙谷敏弘169

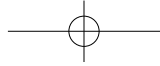


総目次

アウシュビッツから南京へ	市川明 174	後藤 清 4	的・現実的問題	泥 憲和 85	利益とグローバリゼーション （上）	吉川顯磨 205
「新しい非核自治体宣言」の提唱	望田幸男 185	「巻頭言」優生思想とどう向き合 うかー相模原事件に寄せて	バングラデシユのイスラム過激 派テロ事件	佐藤 宏 93	尾崎秀実と中国	木村英亮 220
DDR（旧・東ドイツ）の学術 遺産に目を向けよう 秋間実 194		【観測点】大手メディアが無視し た沖繩（有識者声明）（宮城義弘 19／コロンビアでようやく内戦 終結（岡田則男）24／10周年迎え たマルクス経済学の世界大会 （大西 広）26／大相撲秋場所雜 感（杉山邦博）29	原子力緊急事態宣言下の人権と 健康被害	矢ヶ崎克馬 100	【書評】宇津志勇三著『水の音』	稲沢潤子 224
【書評】山本健慈編著『地方国 立大学 一学長の約束と挑戦』	藤岡貞彦 202	【特集】野党十市民がひらく政治 歴史	ルビヤンカ監獄で書いたプハー リン最後の哲学書 聴濤 弘 115	柏木 新 132	物質代謝論』	浅川雅己 227
聴濤弘著『マルクスならいまの 世界をどう論じるか』	碓井敏正 205	（フォーラム）参議院選挙の結果 と共闘のゆくえー民主主義は暴 政に勝てるか	韓国映画「鳴梁」の魅力とその 現代的意義	北島義信 136	大西 広編著『中成長を模索す る中国 新常态への政治と経済 の揺らぎ』	山本恒人 231
渡辺 治著『現代史の中の安倍 政権』	二宮厚美 209	【インタビュー】古代史になお考 えるところあり 直木孝次郎 32	『君なお生きて我らの中に 永 田廣志の生涯』に取り組んで	原 健一 149	坂上康宏著『昭和天皇とスポー ツー（玉体）の近代史』	高岡裕之 236
斎藤治子著『リトヴィーノフー ナチスに抗したソ連外交官』	宮地正人 213	【インタビュー】市民はどこまで 可能か	希薄な自己への執着ーポストモ ダンと私小説	柴田勝二 160	読者のひろば17／グラビア解説 41／編集後記 240	
【小説】スパイにされた北大生／ 宮沢弘幸	福山瑛子 220	石川康宏井上哲士岡野八代 42	中国社会主義の「体制」規定に ついて	荒木武司 181		
読者のひろば18／グラビア解説 239／編集後記 240		市民運動から始める「政治」の 可能性	1920年代日本における「社 会の発見」と（日本的）倫理	川合大輔 195		
34号（2016年・秋）		自衛隊の南スーダン駐留の法 ……………	「ウクライナ」をめぐる地政学的			
【グラビア】上方落語四天王						
35号（2017年・冬）						
【グラビア】沖繩の命と平和を描 く宮良瑛子	藤田観龍 4					
【巻頭言】戯曲「人類館」と復帰 後の沖繩文学	新船海三郎 13					
【観測点】アメリカ・フアース ト」のトランプ政権（岡田則男）19						

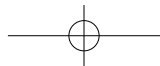


- ／SACO合意20年と野党十市民の共闘(宮城義弘) 21／沖繩・高江からの報告(伊佐育子) 24
- 【フォーラム】「日本会議」はどこまで来たか―歴史をたどり、思想と行動を分析する
青木 理・島園 進・宮地正人 27
- 【特集】沖繩から見えてくるニッポン
〈対談〉抗い、うたう、沖繩の地から―三上智恵・森住 卓 46
亜熱帯の島の自然・暮らしと辺野古・高江 亀山統一 60
裁判所は「あらゆる手段で」国を勝利に導いた―辺野古訴訟福岡高裁那覇支部判決2016年9月16日 前田定孝 72
……………
トランプ現象と草の根の感情の交響―アメリカの終焉の帰結 矢澤修次郎 91
豊洲新市場問題を考える 末延渥史 103
〈インタビュー〉勝ったのは誰か―新潟県知事選挙の「市民」と
- 「保守」 佐々木 寛 118
「中国の統一戦線の歴史的経験を考える―「対立物の統一」と「小異を残して大同につく」ことの難しさ 姫田光義 128
崩壊する「真実」―没落するマスメディア、窒息する言論の自由 山田健太 136
近年の関東大震災関連叙述の問題点について―緊急事態条項」論・教科書を中心に 田中正敬 154
大川小学校判決をめぐる 制野俊弘 167
【鼎談】未来社会をどう構想するか―〈農〉の思想と「もう一つの工業化」と 岩佐 茂・尾関周二・堀尾輝久 177
急変する東アジアの国際情勢―米軍の撤退と中国の膨張戦略 金定三 197
「ウクライナ」をめぐる「地政学的利益」とグローバルゼーション(中) 吉川顯磨 208
【書評】伊東秀子著『父の遺言―
- 戦争は人間を「狂気」にする」 大澤武司 222
新船海三郎著『戦争は殺すことから始まった―日本文学と加害の諸相』 山中 恒 225
農中茂徳著『三池炭鉱宮原社宅の少年』 駒田正幸 229
〈私の読んだ本〉杉山邦博著『土俵―途に―心に残る名力士たち』 宮地正人 232
高口康太著『なぜ、習近平は激怒したのか―人気漫画家が亡命した理由』 高橋孝治 235
239／編集後記 240
- 36号(2017年・春)
- 【グラビア】ふるさとの空、浜通りの祭り 鈴木 渉 4
【巻頭言】教育勅語と「破戒」と 新船海三郎 13
【観測点】トランプ政権、最初の100日(岡田則男) 20／翁長知事が不退転の決意(宮城義弘) 23
- ／大相撲春場所雑感(杉山邦博) 27
【特集1】「学」を踏みしだく「軍」
〈鼎談〉軍学共同と科学者の責任 池内 了・小寺隆幸・望月衣塑子 32
加速する大学改革が誘引する軍学共同 竹内 智 48
北海道における大学・高専関係者の取り組み 北海道の大学・高専関係者有志アピールの会 61
戦争を欲する「死の商人国家」にさせないために 杉原浩司 73
……………
憲法施行70年 岐路に立つ9条―トランプ政権と共謀罪を見すえて 小澤隆二 85
小池都政は「都民ファースト」の福祉を実現できるか 安達智則 101
誇り高き国―韓国で何が起きているのか 権五定 115
「アクティブ・ラーニング」を考える 佐貫 浩 128
【特集2】6年目の3・11 福島の子どもとふるさと―原発



総目次

事故6年の学びと別れ 中村秀夫 141	時代を作る文化ラボ『リアル世界をあきらめない』 清 真人 232 〈読んだ本〉小貫雅雄・伊藤恵子 『菜園家族の思想―甦る小国主義日本』 岩佐 茂 232 宮本信生『カストロ兄弟―東西冷戦を生き抜いた強烈な民族主義者』 太田晴夫 238	罪・辺野古ノ、憲法まもれの声 藤田観龍 27 6・10「辺野古埋め立てノ、共謀罪廃案！国会包囲行動」に参加して 真木和泉 27 『資料』ジョセフ・ケナタツチ氏（フライバシー）に関する権利の国連特別報告者）による共謀罪法案についての安倍内閣総理大臣宛書簡 35 【特集】トランプ新政権と世界のゆくえ、日本の進路 『インタビュー』真っ白なリンゴ でいいのかトランプ政権と日本、そしてシルバー世代 寺島実郎 40 【フォーラム】トランプ米新政権と揺れる世界 浅井基文・西崎文子・三浦一夫 52 マクロン大統領でフランスは再生するか 三浦信孝 72 トランプ政権の中東政策 大畑 遙 79 トランプ登場が意味する米中の覇権交代―「バックス・シニカ」による「よりましな世界」へ 戦争危機迫る朝鮮半島の真実 大西 広 95 姜 英之 108 …… いま、憲法を考える―9条の精神で地球憲章を！ 堀尾輝久 123 日中戦争と近代日本―軍部はどのように推進していったのか 原田敬一 139 森友学園問題について 山本いつとく 151 東芝の粉飾決算と国策原発ビジネス 醍醐 聰 163 土にかえるはな―林京子をおくる 小林八重子 175 人間として思想として、選んで生きた「朝鮮籍」 ―「思想としての朝鮮籍」の著者・中村一成さんに聞く 187 ミヤケンさんのこと 太田晴夫 198 【書評】山田 朗著『昭和天皇の戦争―昭和天皇実録』に残されたこと・消されたこと	草の根で広がるドキュメンタリー映画「いのちの森高江」 謝名元慶 福 168 在日二世、二世の記憶を保存する 高賛侑 170 現代ビルマ文学における抵抗の系譜 南田みどり 181 造幣局長官アイザック・ニュートンの足跡を訪ねて友寄英隆 193 「ウクライナ」をめぐる「地政学的利益」とグローバリゼーション(下) 吉川顯磨 216 【書評】牧野広義『ヘーゲル哲学を語る』 福吉勝男 227	37号 (2017年・夏) 【グラビア】ISとの攻防戦つづく イラク・モスル 玉本英子 4 【巻頭言】文在寅 (韓国新政権) が向かう正義社会 李 修京 13 【観測点】裏目に出たメイ首相と労働党の躍進―英総選挙(岡田 則男) 19 / 故 肥田舜太郎氏の遺志を継ぐ(田代真人) 22 / 裁判になれば沖縄県が有利―翁長知事が安倍政権の違法埋め立てを提訴(宮城義弘) 24 〈フォトレポート〉ひろがる共謀
------------------------	--	--	--	---



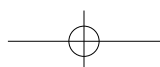
荒川章一 203
 村上春樹著『騎士団長殺し』 木村朗子 207
 伊藤 誠著『資本主義の限界とオルタナティブ』 柴垣和夫 212
 清 真人著『ドストエフスキーとキリスト教—イエス主義・大地信仰・社会主義』 須沢知花 216
 テインベ—ミン著、南田みどり訳『ビルマ1946』市川 明 219
 『私の読んだ本』 尾関周二／環境思想・教育研究会編『「環境を守る」とはどういうことか—環境思想入門』 岩佐 茂 223
 読者のひろば17／編集後記 224

38号 (2017年・秋)

21／高校無償化裁判(大阪地裁)の勝訴(中尾篤) 25／道徳と正義は沖縄県民にあり(宮城義弘) 28
 朝鮮核危機—対話と核兵器廃絶の輪で 三浦一夫 32
 【対談】政治のあり方、私たちの選択—安倍一強からまともな国へ 青井未帆・望月衣塑子 36
 【特集1】ロシア10月革命100年
 ロシア革命とは何だったのか—経済体制の視点から 岡田 進 56
 世界史の中のロシア革命—池田嘉郎『ロシア革命 破局の8か月』を読んで 斎藤治子 69
 明治維新150年」と「ロシア革命100年」 高橋誠一郎 84
 (ロシア10月革命100年に思う)「ソ連社会主義」は挫折した「過渡期」であった 長砂實 96
 グレーニンの見直しに問われるもの 高屋正一 98
 現在のロシア・マルクス主義者は何を考えているか—ロシア十月革命とソ連社会について 聽濤 弘 100

………
 学び舎の歴史教科書への攻撃は何を意味するか 本庄 豊 113
 「長崎」と「浦上」 青来有一 118
 「生前退位」をめぐる問題と象徴天皇制 河西秀哉 121
 【日本人の精神】⑦阿部知二 文学より照らされる「主知」とヒューマニズムの光耀 村瀬裕也 132
 【特集2】原発再稼働でいいのか 原発問題が提起している課題 吉井英勝 144
 (インタビュー)原発とたたかいつづけて50年 仲秋喜道 157
 大間新原発の建設凍結を求めて 稲沢潤子 167
 「東北の鬼」はさらに静かに、深く怒っています 武藤類子 175
 ……
 盧溝橋事件80年・南京事件80年
 にあたり海軍の日中戦争責任を問う 笠原十九司 183
 【資本論】初版150年」生産力の発展と『資本論』—経済学において、唯物史観を「導きの

糸」にすることの意味について 友寄英隆 197
 沿海漁業の危機の現段階—南房総の海女の生活史から 水島美穂 215
 ハンセン病をめぐる最新刊三冊を読む 鶴岡征雄 232
 【書評】中村 稔著『石川啄木論』 碓田のぼる 239
 堀 孝彦著『続「戦後」倫理ノ—ト 2004—2017』 吉田傑俊 242
 梅林宏道著『在日米軍 変貌する日米安保体制』 千坂 純 247
 (私の読んだ本) 鈴木謙次著『メールで交わした3・11—言葉は記憶になって明日へ』 日野秀逸 252
 山中 恒著『現代子ども文化考—「子ども」に寄り添って』 川村 肇 254
 読者のひろば17／グラビア解説 255／編集後記 256



- (沖縄人)の誇り、人間の尊厳
大西 広 240
呉屋守將 119
- 沖縄にとつての明治150年―
「非土の悲哀」とアイデンティテ
松井 暁 250
イと 比屋根照夫 130
- 安倍首相・自民党の改憲論の問
題点と運動の課題 清水雅彦 141
- のんきな場外意見をいつている
場合ではない 米朝戦争危機と
平子友長 262
日本 和田春樹 152
- 最終局面を迎えた朝米対決と南
北関係の展望 金昌五 166
- 日本経済の時限爆弾―異次元金
融緩和政策の後遺症 村瀬裕也 276
- 小西一雄 188
- 「消えたい」を促す世界に取り囲
まれて―座間事件に触れ思うこ
と 宮田惟史 279
中西新太郎 200
- 人類の生存に核兵器は不要だ
藤森俊希 212
- 【特集2】マルクス生誕200年
マルクスの思想をどう受け継ぐ
か 岩佐 茂 228
- 『資本論』が明らかとしたことと
明らかとしていないこと
- 人間本質としての労働と『資本
論』における「労働日の短縮」
金子 聰 179
松井 暁 250
マルクスにおける物象化・物化
と疎外の関係 平子友長 262
………
- 《研究ノート》堀尾輝久「大衆国
家―福祉国家」論におけるメリ
トクラシーの問題」 金子 聰 179
- 【書評】李徳順『中国文化論』
村瀬裕也 276
- 大谷禎之助『マルクスの利子生
み資本論』 宮田惟史 279
- 村山士郎『村山俊太郎 教育思
想の形成と実践』 船橋一男 283
- 読者のひろば17／編集後記 288